

国道422号大石東バイパスの開通について

滋賀県土木交通部道路課

1. はじめに

国道422号は、滋賀県大津市松原町から、滋賀県甲賀市信楽町、三重県伊賀市などを経て、三重県北牟婁郡紀北町に至る延長164kmの幹線道路です。

このうち、大津市南郷地先から大津市大石東町地先にかけては、のり面崩壊等の自然災害を受けやすい区間や、道路幅員が狭い集落内の区間があり、地域の住民や通行者には不安や、不便をかけてきました。



2. 事業概要

県では、地元等の皆様が安全で安心して通っていただける、また、地域の発展に貢献できる道路の整備を、平成16年度「大石東バイパス事業」として着手、平成21年度から工事に着工し、工事が完了した区間から順次供用してきました。当バイパス事業最後となったトンネル区間の工事は、平成29年度に着工し、今年6月に工事が完了、9月14日に「大石東バイパス」として開通することができました。

- ・道路規格 第3種第2級
- ・延 長 $L = 2,775\text{m}$
- ・車道幅員 $w = 3.25\text{m} \times 2$ 車線、片側歩道 $w = 2.0\text{m}$
- ・総事業費 約74億円
- ・主な構造物 橋 梁（瀬田川令和大橋 $L = 176\text{m}$ 令和元年5月26日供用）
トンネル（関津トンネル $L = 378\text{m}$ 令和元年6月完成）





事業区間を南側から望む

3. 開通式

さる9月14日（土）青空の下、関係者の皆様にご臨席いただき、大石東バイパスの開通式を行いました。地元住民の方々を含め、約400名が参加され、盛大に行うことができました。開通式に先立ち地域の子どもたち等による、よさこいおどり、チアダンスや祝い太鼓の演技、県警察本部音楽隊の演奏が振る舞われ、開通式に大きな花を添えていただきました。

いつまでも永く愛される道路であってほしいと思います。



開通式では、知事の主催挨拶、地元代表挨拶、来賓挨拶の後、知事、地元自治連合会長、国会議員、近畿地方整備局、県議会議員、地元警察署長、大津市長によるテープカットに引き続いて、地域の子ども、県議会議員、期成同盟会、市議会議員によるくす玉開花を行いました。

くす玉が綺麗に開花した際には、花火が上がるとともに大きな歓声が沸き、子ども達も大変喜ばれていました。



4. おわりに

国道 422 号大石東バイパスの開通により、まずは地域の安全や道路ネットワークの多重化が確保されたこと、また、大津市と甲賀市や伊賀市との距離がさらに縮まり、地域間の経済や文化交流のさらなる活性化、地域の発展などに大いに貢献するものと期待しています。

最後に、大石東バイパスが無事開通できたのは、地域の皆様、貴重な用地を提供いただいた地権者の皆様をはじめ、ご指導ご助言いただいた国土交通省をはじめ関係機関各位の皆様のご理解と温かいご支援のたまものであり厚く感謝するとともに、この書面をお借りしてお礼申し上げます。